

平成27年度センター機関推進プロジェクト報告書

1. プロジェクト名

中華圏現代史貴重史料の収集・整理

2. 申請研究者

松田 康博 東洋文化研究所・教授

※主要な研究協力者 清水 麗 東洋文化研究所・特任研究員

3. 研究期間

平成26年4月1日から平成28年3月31日（2年間）

4. プロジェクトの趣旨、全体計画

本プロジェクトは、「台湾現代史貴重史料の収集・整理」（機関推進プロジェクト平成22-24年度）および「中華圏現代史貴重史料の収集・整理」（機関推進プロジェクト平成25年度）の後継プロジェクトである。これらは、中華圏の貴重資料収集をプロジェクトとして予算化し、より系統的・機動的な収集と整理を行うものである。申請者はこれまでも台湾のみならず香港や中国大陸の貴重史料を収集してきたが、台北に加え、他地域の古書店の史料供給源を開拓し、散逸してしまう前に現代史に関する貴重史料を収集することが目的である。

5. 今年度の研究実施状況

台湾の国立政治大学への研修出向の機会を利用して積極的に台湾での史料収集を進めた。平成28年1月27日現在、所定の予算と部門基盤構築費を併せ、古書・档案・その他について以下の収集が済み、順次東文研図書室に納入している。

台北での購入分

書名・档案・その他		
勦匪戦史（1-10、12巻）	戦区党務幹部輔導進修工作之検討 與改進報告	匪偽「憲法修改草案」批判選輯
莊敬自強破敵勝敵	羅副主任簽呈主任之意見	中共禍国殃民三十年
誰替共匪文宣開路？	痛苦的教訓莊嚴的使命	匪俄边界談判與毛共伴狂作態
認識敵人	中国近現代政治体制的演变與發展	毛共「九大」後の趨勢
中国国民党與台湾	中共香港政策秘聞実録	莒光文選集：台独問題剖析
福建省匪偽交通設施之研究	堅苦卓絶繼往開来	緬甸蕩寇志
密碼語保密管制與洩密違規处理準	毛共陷於内外交迫的困境	国際法院対ニ加拉瓜控告美国案之処

則		理他
参謀作為（一）	莒光文選集（7）	Certain problems relating to human rights in the Republic of China
第十屆國際青年工作研習會特刊	保証貫徹勿忘在莒運動公約	The right of organize in the Republic of China
國際法與武力之使用	Party vs. State in Post-1949 China: The Institutional Dilemma	The law governing the disposition of juvenile cases
中共對台政策的分析	二十世紀的中国辺疆研究	軍隊復員與国民義務勞力編成計畫芻議
我国國際法律地位及重返國際組織問題	The Chinese Problem	統戰與反統戰
國際法上之承認與中華民國	中国知識分子的覺醒	王子步先生八十五回憶錄
從國際航空法論中共東海演習	我国領海寬度問題之立場及其展望	恭誦總裁「推行革命實踐運動的回顧並提示今後施政的方針」訓示讀後感
行政立法兩局議員年報一九八八	金馬地區戰地黨務改制後之檢討	如何加強黨在敵後敵武装闘争
中美国會議員聯誼會	如何建立戰地黨政關係	中国国民党各級政治綜合小組組織規程
胡國振先生紀念集	中国国民党党史綱要	本黨在戰地基層組織發展的重要性
共產國際主義批判	恭誦總裁對「文藝會談」訓示心得報告	本黨現階段黨務工作綱領
毛澤東思想的歷史結論	我們應有的認識	革命實踐研究院馬祖黨務第一研究組五十三年第次專題討論
共產極權主義的本質	国軍「莒光週」政治教育教材	揭發共匪暴行的有效方法
步兵師通信兵營	泰威專案（第2卷）	黨的行動指導原則讀後感
我們以中国国民党為榮	越南華僑国籍問題研究	對於本黨黨章修改的意義
出使越南記	中国国民革命運動敵發展表解（一）	
有關当前中美關係重要文件彙編	如何加強敵後反共革命行動摧毀匪偽政權	

6. 今年度の研究成果の概要

東文研図書室に納入している貴重資料は、平成25年度から「現代台湾文庫」および「現代中国文庫」として公開されており（1月27日現在、1477件が登録済）、東文研のホームページでもその紹介を行っている（<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~ymatsuda/jp/project.html>）。

台湾で収集した档案資料の整理に関しては、清水麗特任研究員が東文研図書室と協力してこれを進めており、公開を始める予定である。第一次公開予定リストに関しては、回覧資料（要回収）とする。

以上